

# 工作機械工業 収益状況集計

(2023年度 第3四半期)

会員企業のうち2024年2月末迄に2023年度第3四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業13社を集計。調査対象企業における専業比率は84.0%。なお、今期は第3四半期より上場廃止に伴い1社減となったため、前年度末から1社減の13社での集計に修正した。

## 1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要 (13社)

(単位：百万円・%)

	23年度	23年度	23年度	23年度	前年同期比	22年度
	I期	II期	III期	I～III期		I～III期
売上高	191,239	208,921	197,519	597,679	△0.5	600,426
売上総利益	60,149	63,894	61,616	185,659	+1.4	183,141
売上総利益率	31.5	30.6	31.2	31.1		30.5
営業利益	17,135	16,920	15,519	49,574	△5.4	52,413
営業利益率	9.0	8.1	7.9	8.3		8.7
経常利益	20,159	18,465	15,576	54,200	△8.6	59,292
経常利益率	10.5	8.8	7.9	9.1		9.9
当期利益	14,733	11,853	11,642	38,228	△10.9	42,908
当期利益率	7.7	5.7	5.9	6.4		7.1
総資産	1,163,043	1,168,541	1,163,009	1,163,009	+2.0	1,140,088
純資産	740,714	760,035	761,925	761,925	+8.8	700,302
自己資本比率	63.7	65.0	65.5	65.5		61.4
自己資本 当期純利益率 (ROE)	8.0	6.2	6.1	6.7		8.2

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～III期計・前年同期比) (13社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	8	5	13
売上総利益	8 (0)	5 (0)	13 (0)
営業利益	7 (0)	6 (2)	13 (2)
経常利益	7 (0)	6 (1)	13 (1)
当期利益	7 (0)	6 (2)	13 (2)

※( )内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

## 2. 2023年度通期見通しの概要

**表3 【第3四半期時点】連結業績予想の概要（13社）**

（単位：百万円・％）

	2023年度通期見通し			2022年度実績
	第2四半期時点	第3四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	806,346	808,146	△2.6	830,122
営業利益	65,359	64,499	△16.0	76,764
営業利益率	8.1	8.0		9.2
経常利益	70,934	70,119	△16.8	84,314
経常利益率	8.8	8.7		10.2
当期利益	50,996	49,526	△20.6	62,346
当期利益率	6.3	6.1		7.5

**表4 【第3四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（13社）**

通期 (対前年度比)	増収増益	6社 (1社減)	増収減益	1社 (増減なし)
		減収増益	1社 (1社増)	減収減益

※（ ）内は、第2四半期時点からの増減社数

### ◎第2四半期時点からの修正理由

#### 【売上高、経常利益とも上方修正 …2社】

○売上高は概ね予想通りに推移しているが、利益水準はかねてから生産性の向上や業務の効率化等の推進により、部材の高騰を吸収する取り組みを進めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益の各利益において、前回予想を上回る見通しとなった。

○為替レートが以下の通り前回想定に比べ円安に推移したため、業績予想を修正。

米ドル 前回想定為替レート：129.60円/米ドル 今回想定為替レート：143.50円/米ドル  
ユーロ 前回想定為替レート：140.90円/ユーロ 今回想定為替レート：155.80円/ユーロ

#### 【売上高、経常利益とも下方修正 …2社】

○売上高は、第3四半期連結累計期間の実績は順調に推移したが、通期見通しは主に部品加工関連事業における客先の生産計画の見直しにより当初の計画を下回る見込み。利益は、部品加工関連事業の生産数量が大きく減少した影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表値を下回る見込み。

○売上高は、食品機械事業は製麺機・米飯装置ともに案件が進捗する見込みだが、工作機械事業及び産業機械事業において厳しい状況が継続する見込みであり、前回予想を下回る見通し。利益面においては、生産調整等による工場の収益改善も一部寄与するものの、原材料価格等の高騰による製造原価の高止まり等を鑑み、下方修正。

### 3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (13社)

(単位:百万円・%)

	23年度		22年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	501,824	△1.5	509,570
営業利益	45,441	△5.4	48,045
営業利益率	9.1		9.4
専業比率	84.0		84.9

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (23社)

(単位:百万円・%)

	23年度		22年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	692,242	+0.1	691,345
営業利益	62,899	△2.3	64,363
営業利益率	9.1		9.3
専業比率	31.5		32.4

※表5の対象企業13社に加え、セグメント情報を公表している  
専業比率30%以下の会員企業10社を加えた23社で集計

#### 【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社  
 浜井産業株式会社  
 豊和工業株式会社  
 小池酸素工業株式会社  
 株式会社牧野フライス製作所  
 株式会社岡本工作機械製作所  
 オークマ株式会社  
 西部電機株式会社  
 株式会社ソディック  
 スター精密株式会社  
 株式会社太陽工機  
 高松機械工業株式会社  
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)  
 株式会社FUJI  
 株式会社不二越  
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)  
 黒田精工株式会社  
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)  
 株式会社三井ハイテック  
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)  
 株式会社桜井製作所  
 芝浦機械株式会社